ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-6	調査位置				北　緯	36 ° 44 ’ 6.8300 ”
発注機関	栃木県　矢板土木事務所			調査期間	2008-10-17 ～ 2008-10-17	東　経	139 ° 58 ’ 23.3200 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	163.66 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	163.46	0.20	0.20		表土 (SF)	暗茶灰			礫混り砂質シルトによる盛土である。		
1					砂質火山灰土 (VAS)	淡茶			川崎層群，館ノ川凝灰岩層に相当する半固結地盤である。 軽石質火山灰土の多量の火山砂を含み、硬質な性状を有す。 GL-2.5m以深、軽石の白色細粒化が顕著である。 所々にφ5mm内外の風化礫を混入し、GL-3.7～4.0m間ではやや多く認める。 GL-4m以深、含水を増す。		10/17 2.75
2											
3						淡茶灰					
4											
5	158.21	5.25	5.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	5	6	8	19／30	19
1.45					
2.15	4	5	7	16／30	16
2.45					
3.15	4	5	6	15／30	15
3.45					
4.15	5	5	6	16／30	16
4.45					
5.15	6	5	6	17／30	17
5.45					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						10/17